闘灯 ともしび

BUNKAI NEWS

４月２９日（金曜日）

発行責任　石橋康裕
編集責任　教宣部

仲間の団結の温もりを大切に闘いの強化

ついに【闘うネコ伝説第８章】

ゴーストライター渾身の最終章

闘うネコ伝説

待望の第８章！

JRを利用する人の「声」を集めるため、県内を駆け回った８匹の闘うネコたち、アンケートには、「駅の乗換案内をわかりやすくして欲しい。」「駅員を探すのが大変なので駅員を増やしてほしい。」「ワンマン運転が始まって増々不便になった。」等々・・・お客さんたちの切実な意見がたくさん集まってきた。

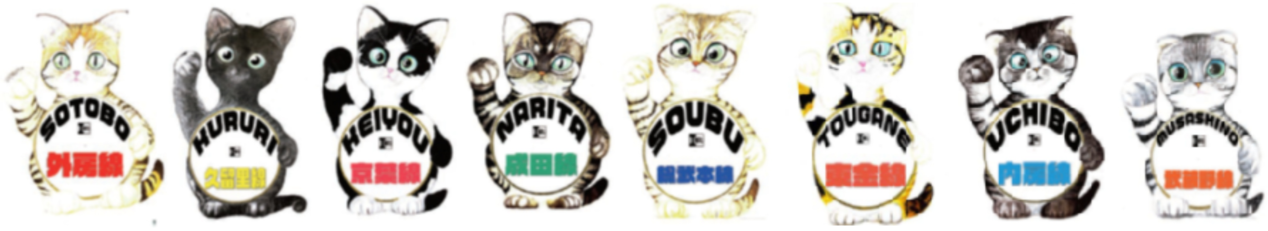
どうやってこのアンケートの結果をJRに伝えようか？８匹のネコたちの作戦会議が始まった。

「八犬士に、みんなの不満を直接伝えるのがいいと思うニャ！」とムサマル（武蔵野線）が言った。すると、すかさずリーダー格のクルリン（久留里線）はその意見に反対するようだ。「それは難しいニャー。久留里線では３年前の台風の影響で待合室の屋根や壁が吹き飛ばされた駅もあり、雨・風がしのげるようにして欲しいと切望した地域の人たちが八犬士たちに訴えても「お金が無い！」と何もしてもらえなかったニャー」

KURURI
久留里線

MUSASHINO
武蔵野線

それじゃ、アンケートを集めた時のようにJRを使っている人や沿線の人たちに、協力してもらったらうまくいくかもしれないニャ」と提案したのは、アイデアマンのソウニャン（総武本線）だった。



地域フォーラム応援キャラクター闘うネコたち

KURURI
久留里線

まずは今まで協力してくれたそれぞれの線区の議員さんにそれぞれの議会でみんなの「声」を届けてもらうことになった。

８匹のネコたちは、また分担をして、それぞれの線区の議員さんを通じてそれぞれの線区の問題点と共通する問題を議会の中で質問してもらう取り組みを進めた。

８匹のネコたちの頑張りと議員さんの熱意もあって、今まで全会一致で議会決議がされる事の無かった議会で議会決議を勝ち取ることができるなど、アンケートの取り組みの結果から大きな成果につながる地域もでてきた。

便利で使いやすいJRを取り戻すため、８匹のネコたちと人々の闘いはこれからも続く・・・

永らくご愛読いただきました「闘うネコ伝説」のゴーストライターは、今第８章をもって終了です

地本地域公共交通対策委員会のこの間の取り組みとして地域に出て様々なJRの実態について利用者や地域や沿線住民に理解してもらって共に利用しやすいJRにしていくために安全やサービス更に利便性が損なわれないようにするため何を取り組んでいくのかということで様々実施してきました。

今回原点に返って今JRの職場がどうなっているのか？どんな状況で働かされているのか？しっかりと組合員自らが把握して現状の課題の克服のために何をやらなければならないのか？を明らかにするために今回の職場実態討論集会を開催することになりました。

どこの職場も労働強化が進んでいます。会社の言う「赤字論」が優先され働かされています。職場の実態を共有して反撃に転じよう！

５・１４職場実態討論集会
１３：３０～千葉県文化会館